

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当の基準日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告して設定します。
公告方法	電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。 なお、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。 ホームページ http://www.vinx.co.jp ※貸借対照表、損益計算書はEDINET（金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム）にて開示しております。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
同郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル) (各種お手続き) ・住所変更のお申し出先について 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。 ・未払配当金の支払いについて 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第二部

第28期 中間報告書

Make IT better with
VINX 2016.4.1 ▶ 2016.9.30

VINX

株式会社ヴィンクス
本社/〒530-0004
大阪市北区堂島浜2-2-8
TEL.06-6348-8951 (代)
<http://www.vinx.co.jp>

UD FONT

ユニバーサルデザイン(UD)の
考えに基づいた見やすいデザインの
文字を採用しています。

ホームページのご案内

当社に関する情報は
ホームページでもご覧いただけます。
<http://www.vinx.co.jp>



VINX 株式会社 ヴィンクス

証券コード：3784

人々の暮らしと流通企業のビジネス活動を
情報システム技術で融合し、
豊かな社会の実現に貢献します。



代表取締役 社長執行役員 藤田 俊哉

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、
厚く御礼申し上げます。

ここに第28期中間期(2016年4月1日から2016年9月30日まで)における
当社グループの事業概況等を謹んでご報告申し上げます。

当中間期の連結経営成績

	前中間期	当中間期	前年同相比
売上高	138億95百万円	128億52百万円	92.5%
営業利益	8億6百万円	6億97百万円	86.5%
経常利益	7億52百万円	6億61百万円	87.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4億86百万円	4億26百万円	87.7%

売上高

既存顧客への更なる深耕を図ってきたものの、経営環境の変化に伴う顧客のシステム投資の計画変更、
受注までの期間が長期化した影響などにより、前年同期を下回る結果となりました。

利益面

営業利益は要員の効率化・管理費削減を行いました。次世代製品開発への積極投資、新規事業に関する
市場調査等の研究開発費が増加したため、前年同期と比較して下回る結果となりました。

アウトソーシング分野

システム運用・管理サービス、ソフトウェア保守サービス、
ヘルプデスクサービス、ASPサービス等

売上高 64億 63百万円

前年同期差 1億45百万円減 前年同相比 97.8%

計画差 3億37百万円増 計画比 105.5%

営業利益 3億 95百万円

前年同期差 5百万円減 前年同相比 98.5%

計画差 1億17百万円増 計画比 142.1%

ソリューション分野

流通・サービス業向け基幹システム、クレジットカードシス
テム、ネットビジネス等

売上高 34億 17百万円

前年同期差 9億29百万円減 前年同相比 78.6%

計画差 13億86百万円減 計画比 71.1%

営業利益 2億 50百万円

前年同期差 56百万円減 前年同相比 81.6%

計画差 1百万円減 計画比 99.5%

プロダクト分野

オープンPOSパッケージ、クラウド型タブレットPOSパケ
ージ、CRMパッケージ、MD基幹システム、次世代統合運用等

売上高 5億 56百万円

前年同期差 76百万円減 前年同相比 88.0%

計画差 2億41百万円減 計画比 69.7%

営業利益 13百万円

前年同期差 46百万円減 前年同相比 23.1%

計画差 22百万円減 計画比 38.5%

その他IT関連分野

ハードウェア販売、店舗システム導入展開サービス等

売上高 24億 14百万円

前年同期差 1億8百万円増 前年同相比 104.7%

計画差 4億78百万円増 計画比 124.7%

営業利益 37百万円

前年同期差 29千円減 前年同相比 99.9%

計画差 20百万円増 計画比 220.9%

中間配当につきまして

2017年3月期の中間配当金につきましては、当初の予想どおり1株当たり10円とすることといたしました。
なお、期末配当金につきましては、1株当たり10円を予定しております。

— 2016年度上期において実施した主な施策 —

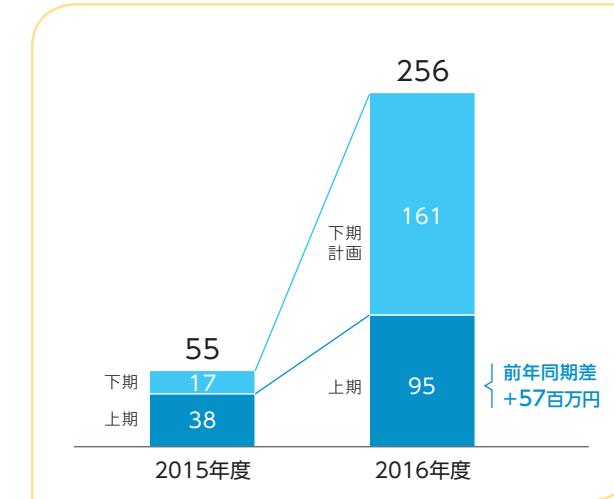
/// 主な営業トピックス

商品・サービスの差別化戦略	<p>専門店</p> <p>● POSシステム 全国に展開する大手総合衣料専門店様よりPOSアプリケーション案件の受注を獲得いたしました。</p>
	<p>ドラッグストア</p> <p>● MD基幹システム 中国および四国地方を中心に展開する中堅ドラッグストア様にて本番稼動することができました。</p>
	<p>スーパー (海外)</p> <p>● ITフルアウトソーシングサービス 大手総合小売業のマレーシア法人様より保守・運用業務まで含めたITフルアウトソーシング案件の受注を獲得し、サービス提供を開始いたしました。</p>
グローバル戦略	<p>流通・サービス (海外)</p> <p>● POS定額利用料サービス アセアン地域に進出している日本の流通・サービス業向けに、POS関連機器の調達・設置等の初期投資および運用費用の抑制が可能なPOSレジおよびPCを定額で利用できる「POS定額利用料サービス」の提供を開始いたしました。</p>
	<p>スーパー</p> <p>● POSシステム 中国および四国地方を中心に展開する大手スーパー様より前期受注したMD基幹システムに加えて新規POS案件の受注を獲得いたしました。</p>
特定顧客化戦略	<p>スーパー</p> <p>● POSシステム機器のリプレイス 関東地方を中心に展開する大手スーパー様よりPOS機器の大型リプレイス案件の受注を獲得いたしました。</p>

/// 研究開発活動および製品投資の状況

研究開発活動

(単位：百万円)

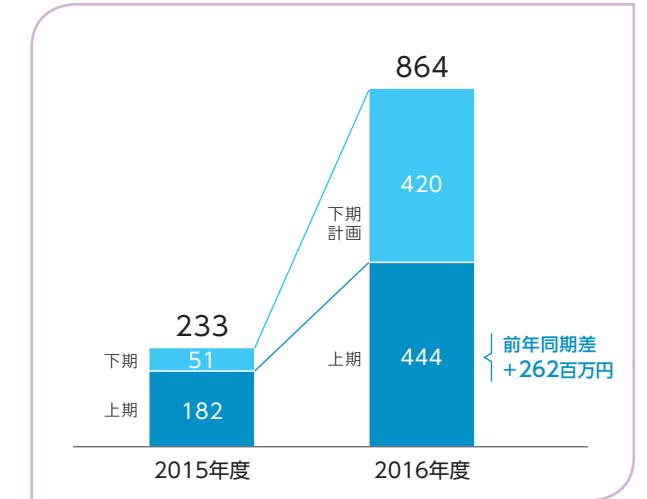


2016年度上期 主な研究開発活動の明細

区分	No	概要
研究開発活動	1	専門店向けオムニチャネル&基幹システムの研究開発
	2	スーパーマーケット版 「ANY-CUBE Neo®」の研究開発
	3	「SoftWareCAT®」の研究開発
	4	ロボットPOS標準インターフェイスの研究開発
	5	顧客の売上向上に繋がるソリューションの研究開発
	6	グローバル事業推進のための調査

製品投資

(単位：百万円)



2016年度上期 主な製品投資の明細

区分	No	概要
製品投資	1	海外向けMD基幹システム開発 商品管理基幹システム MDware-global
	2	大手総合小売業グループ向けMD基幹システム開発 商品管理基幹システム MDware-
	3	「ANY-CUBE Neo®」に関する追加開発 次世代POSソリューション ANY-CUBE Neo®
	4	「SoftWareCAT®」のインバウンド向け決済機能追加 マルチ決済システム SoftWareCAT

四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第2四半期末 2016年9月30日現在	前期末 2016年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	12,198,691	12,687,856
固定資産	3,315,956	3,268,927
有形固定資産	1,338,739	1,299,641
無形固定資産	848,513	835,702
投資その他の資産	1,128,703	1,133,583
資産合計	15,514,647	15,956,784
(負債の部)		
流動負債	5,091,510	4,877,099
固定負債	3,433,822	4,015,243
負債合計	8,525,332	8,892,343
(純資産の部)		
株主資本	6,909,750	6,589,081
その他の包括利益累計額	34,794	102,420
新株予約権	3,206	-
非支配株主持分	41,563	372,938
純資産合計	6,989,314	7,064,440
負債純資産合計	15,514,647	15,956,784

四半期連結損益計算書

(単位:千円)

	当第2四半期累計 2016年4月1日～ 2016年9月30日	前第2四半期累計 2015年4月1日～ 2015年9月30日
売上高	12,852,413	13,895,391
売上原価	10,269,554	11,175,965
売上総利益	2,582,859	2,719,426
販売費及び一般管理費	1,885,399	1,913,176
営業利益	697,459	806,249
経常利益	661,339	752,913
親会社株主に帰属する 四半期純利益	426,595	486,506

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第2四半期累計 2016年4月1日～ 2016年9月30日	前第2四半期累計 2015年4月1日～ 2015年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	1,299,930	286,384
投資活動による キャッシュ・フロー	1,442,133	△710,510
財務活動による キャッシュ・フロー	△870,374	△400,485
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△195,494	31,723
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	1,676,195	△792,888
現金及び現金同等物の 期首残高	4,850,280	3,909,313
連結の範囲の変更に伴う現金及び 現金同等物の増減額(△は減少)	-	△61,807
現金及び現金同等物の 四半期末残高	6,526,476	3,054,616

株式の状況 (2016年9月30日現在)

発行可能株式総数 22,400,000株
 発行済株式の総数 8,859,000株
 株主数 1,729名

大株主 (上位10名)

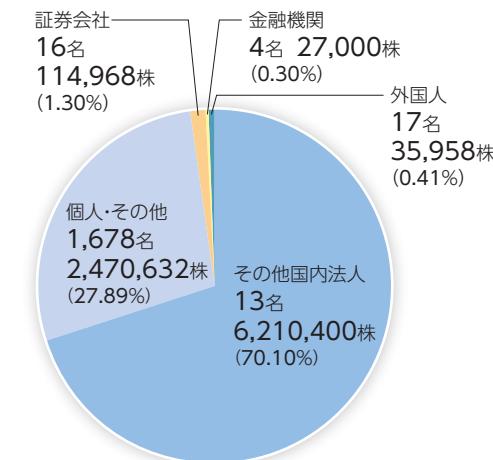
株主名	持株数	持株比率
富士ソフト株式会社	6,055,000株	68.34%
ヴィンクス従業員持株会	339,245	3.82
城田正昭	102,200	1.15
有限会社協和商事	74,700	0.84
津田孝博	71,000	0.80
神林忠弘	54,500	0.61
石橋拓朗	53,500	0.60
松浦一夫	50,000	0.56
大西誠	49,240	0.55
新岡弘行	45,000	0.50

(注) 1.大西誠氏の持株数には、ヴィンクス役員持株会名義の株式140株を含めて記載しております。
 2.持株比率については、小数点第3位を切り捨てております。

会社概要 (2016年9月30日現在)

商号	株式会社ヴィンクス (英文名 VINX CORP.)
本社	大阪市北区堂島浜2-2-8
設立	1991年2月20日
主要な事業内容	流通・サービス業に特化した総合情報サービスの提供
資本金	596,035,384円
従業員数	1,360名(連結)、1,128名(単体)
連結子会社	株式会社 4U Applications 維傑思科技(杭州)有限公司 Vinx Malaysia Sdn.Bhd. VINX VIETNAM COMPANY LIMITED

所有者別株式分布状況 (2016年9月30日現在)



(注) 上記には、自己株式(42株)は含まれておりません。

役員 (2016年9月30日現在)

代表取締役	社長執行役員	藤田俊哉
取締役	専務執行役員	今城浩一
取締役	専務執行役員	大西誠
取締役	常務執行役員	木元寛
取締役	常務執行役員	服巻俊哉
取締役	常務執行役員	竹内雅則
取締役		豊田浩一
取締役		岡嶋秀実
取締役(社外)		川口勉
取締役(社外)		大石健樹
常勤監査役(社外)		水口賢
監査役(社外)		村田智之
監査役(社外)		佐藤吉浩